

第24回 日本医療マネジメント学会学術総会開催のお知らせ(第1報)

持続可能な地域医療を目指して ～機能分化・連携と人材マネジメント～



第24回 日本医療マネジメント学会学術総会
会長 大西祥男

(地方独立行政法人加古川市民病院
機構理事長兼加古川中央市民病院
院長)

この度、第24回日本医療マネジメント学会学術総会を2022年7月8日(金)・9日(土)の2日間にわたり、神戸ポートピアホテルならびに神戸国際会議場において開催させていただくことになりました。兵庫県では初めての開催となり、大変光栄なことで全国からご参加いただく皆様に満足いただける学術総会に向けて鋭意準備を進めております。

昨年来、新型コロナウイルスが地球規模で猛威を振るい、医療現場は勿論のこと人々の日常を大きく変えました。ワクチン接種が始まり、漸くトンネルの出口が見えてきたように思いますが、終息までにはまだ暫く時間がかかりそうです。

我が国の人口推計からは、2025年には国民の5人に1人が後期高齢者となる超高齢社会が到来し、その後2040年に向けて高齢者人口の増加は緩やかになり現役世代の急減という局面に移行していきます。このような人口構造の変化を踏まえ、国は「どこにいても必要な医療を最適な形で」「医師・医療従事者の働き方改革で、より質が高く安全で効率的な医療へ」をめざし地域医療構想の実現、医師・医療従事者の働き方改革、実効性のある医師偏在対策の三位一体改革を推進しています。また、地域包括ケアシステムも2040年を展望した地域共生社会の実現へと向かっています。

このような状況の中、本学術総会のメインテーマを「持続可能な地域医療を目指して ～機能分化・連携と人材マネジメント～」といたしました。10数年前には医師不足から地域医療崩壊が叫ばれ、今はコロナにより各地で地域医療が危ぶまれ、将来は現役世代の急減に伴い医療・介護人材の不足も懸念されます。医療・介護が安定的に継続性をもって存続すること、つまりその持続可能性がキーワードと考えています。そして、地域医療を維持していく上で大切な体制づくりと

人づくりという点からサブテーマを掲げました。AIやロボット技術、医療のデジタル化、データヘルス改革、エンドオブライフの質、遺伝子診療など医療・介護における様々な課題においてもその体制と支える人材の確保・育成は重要なテーマです。本学術総会においては、将来に向けて質の高い医療・介護、地域医療の望ましい姿を様々な観点から議論いただきたいと考えております。

神戸は交通のアクセスも良く、北野異人館や南京町など異国情緒豊かなスポットがあり、海や山など自然にも恵まれています。他にもスイーツ、グルメ、ファッション、ジャズ、夜景など様々な魅力が溢れる街です。一日も早くコロナが終息し、来年、多くの皆様と神戸でお会いできることを楽しみにしております。

会 期：2022年7月8日(金)・9日(土)

会 場：神戸ポートピアホテル・神戸国際会議場

プログラム(予定)：基調講演、会長講演、招待講演、特別講演、教育講演、教育セミナー、シンポジウム、一般演題(口演/ポスター)、クリティカルパス展示、モーニングセミナー、ランチョンセミナー、アフタヌーンセミナー、市民公開講座

問い合わせ先：第24回日本医療マネジメント学会学術総会

事務局 地方独立行政法人加古川市民病院機構

加古川中央市民病院

担当：井上(人事部)

〒675-8611 兵庫県加古川市加古川町本町439

TEL：079-451-5500(代表) FAX：079-451-5548

E-mail：jhm2022@kakohp.jp

運営事務局 株式会社JTBコミュニケーションデザイン

ミーティング&コンベンション事業部内

担当：江口、村田

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町2-1-25

JTBビル7F

TEL：06-4964-8869 FAX：06-4964-8804

E-mail：jhm2022@jtbcom.co.jp